令和 8 年 11 月 5 日

埼玉県感染症発生動向調査事業　　彩の国　埼玉県

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報　2026 年 第 44 週（10 月 26 日～11 月 1 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 人	類型	患者　2 人
			血清型	O157　1 人、O8　1 人
四類感染症	デング熱	1 人	推定感染地域	インド
	レジオネラ症	3 人	病型	肺炎型　2 人、 ポンティアック熱型　1 人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種	*Klebsiella* sp.
	急性脳炎	4 人	病原体	インフルエンザウイルスA型　3 人、 エンテロウイルス　1 人
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
	梅毒	11 人	病型	早期顕症Ⅰ期　3 人、 早期顕症Ⅱ期　8 人
	百日咳	11 人	年齢階級	0 歳　1 人、5-9 歳　3 人、 10 歳代　3 人、20 歳代　1 人、 40 歳代　2 人、70 歳代　1 人

〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ（13.65→14.22：**図 1-1～3**）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、依然としてやや多い状況にある。年齢階級別では 14 歳以下が全体の約 63%であった。基幹定点における**インフルエンザ（入院）**の報告数は 22 人（前週 22 人）であった。基幹定点報告疾患の一つである**マイコプラズマ肺炎**（**図 2**）の報告数は 28 人（定点当たり報告数 2.33）で、前週（39 人）を下回ったものの多い状況が続いている。年齢階級別では、14 歳以下が全体の約 86%であった。**ＲＳウイルス感染症**（1.26→1.03：**図 3**）の定点当たり報告数は、3 週連続して減少したものの、やや多い状況にある。**新型コロナウイルス感染症**（1.50→1.22：**図 4**）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。基幹定点における**新型コロナウイルス感染症（入院）**の報告数は 10 人（前週 9 人）であった。**急性呼吸器感染症**（93.47→96.73：**図 5**）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 3 人、**流行性角結膜炎** 13 人の報告があった。

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）感染症情報提供サイト（URL：https://id-info.jihs.go.jp/）で御覧になれます。

埼玉県衛生研究所　感染症疫学情報担当
TEL:0493-59-9325　e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp
URL: https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/

＜インフルエンザ流行情報＞

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

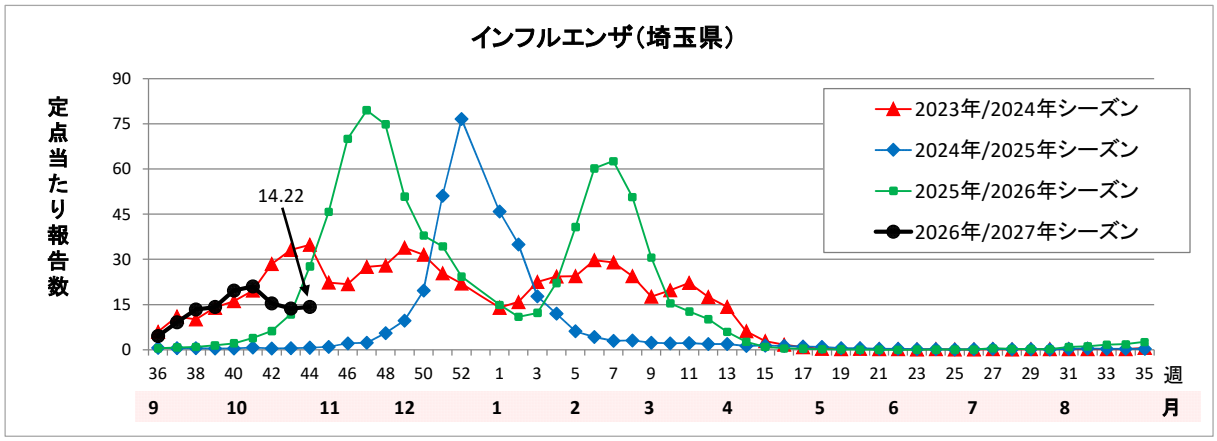
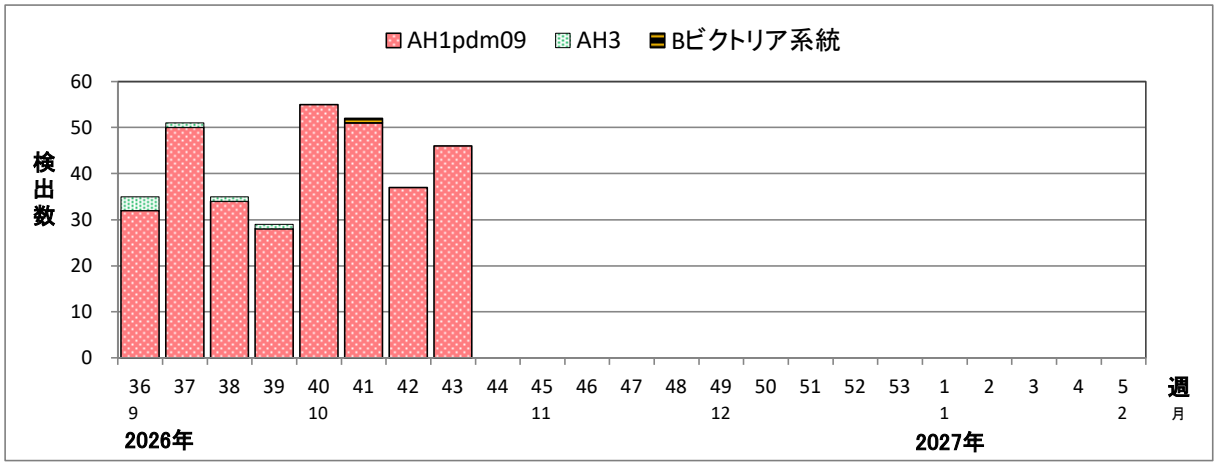
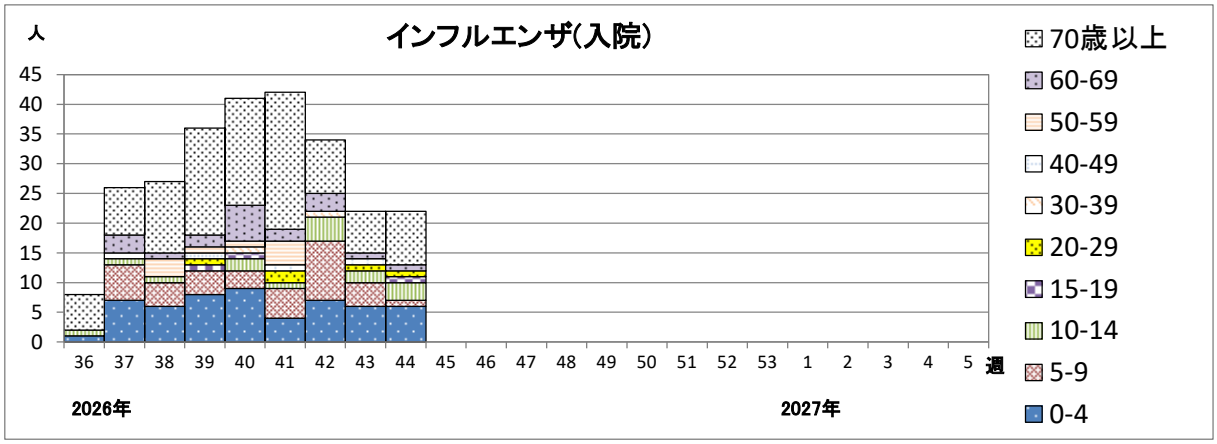


図 1-2 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2026 年第 41 週～第 43 週（2026 年 10 月 5 日～25 日）の 3 週間に採取された急性呼吸器感染症のうち、インフルエンザウイルスが検出され、その型別が終了した 135 検体は、AH1pdm09 型が 134 件（99.3%）、B ビクトリア系統が 1 件（0.7%）でした。

図 1-3 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数の推移



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図２　マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移

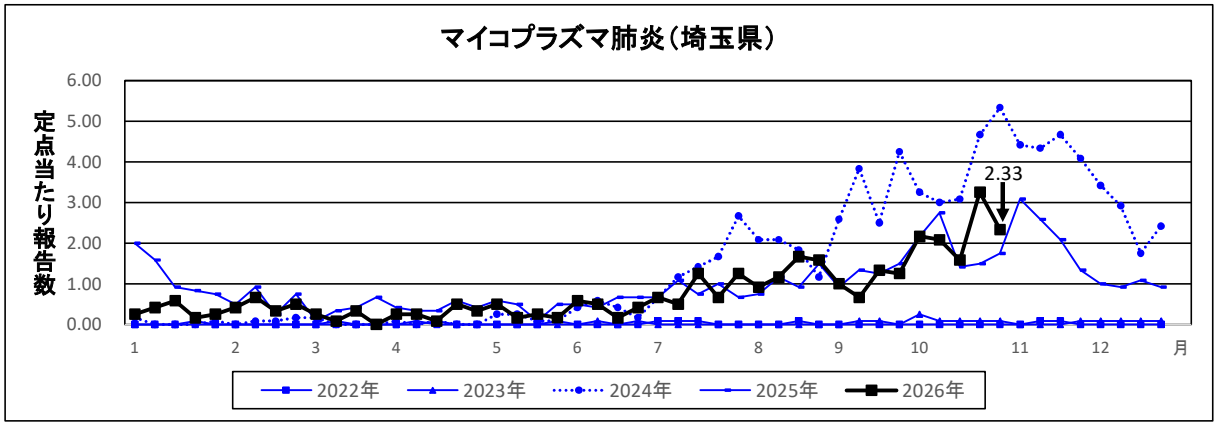


図３　ＲＳウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

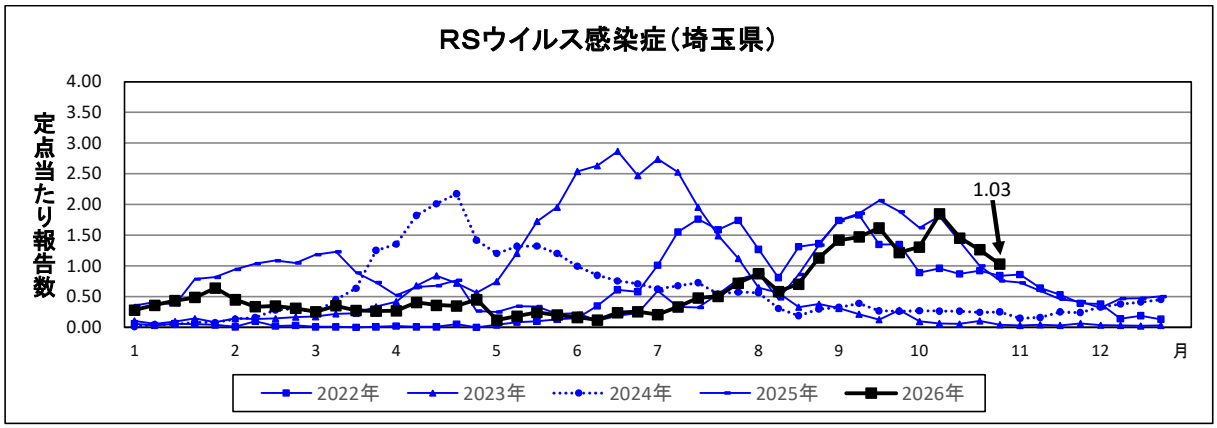


図４　新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

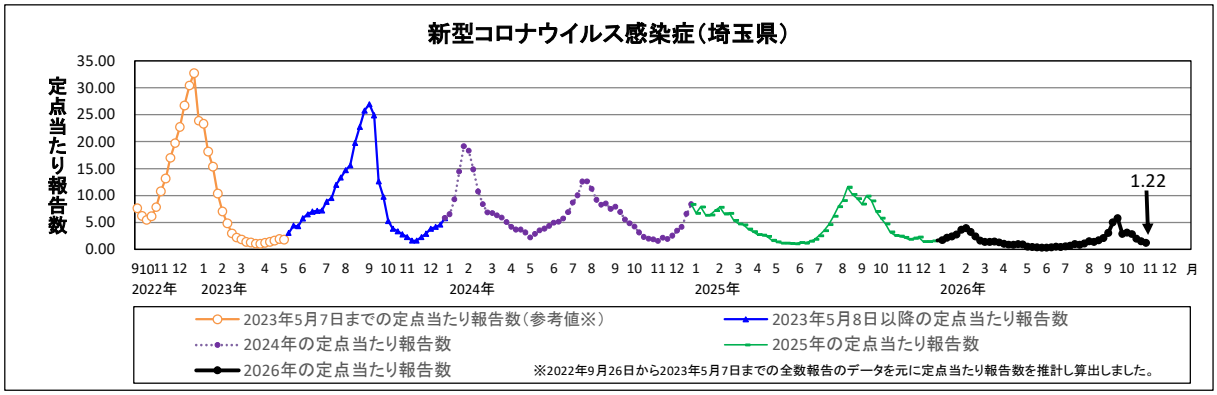
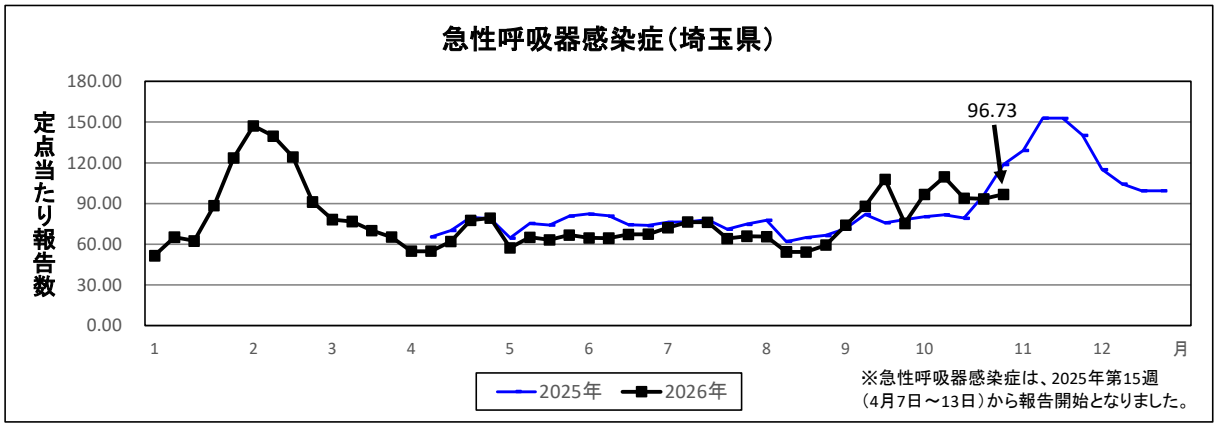


図５　急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第44週)

(2026年11月4日　13:30集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核＊1	−	−	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		2	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	2	159			
四類感染症					
E型肝炎		58	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		18	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	136
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱	1	2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		29	水痘（入院例に限る）		21
ｳｲﾙｽ性肝炎(E型・A型を除く)		15	先天性風しん症候群		
ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	1	41	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	11	423
急性脳炎	4	72	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症		
劇症型溶血性ﾚﾝｻ球菌感染症		47	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		36	百日咳	11	389
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌感染症	1	33	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	1	86			

累計は診断週で集計

＊1　結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　　報告患者数　　保健所別　（2026年第44週　　10月26日～11月1日）

保健所		インフルエンザ＃1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎＃2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎＃3	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	インフルエンザ（入院）	新型コロナウイルス感染症（入院）
全県	報告数	2,503	214	17,025	114	29	205	389	28	80	2	22	108	2	3	13	－	－	28	－	－	22	10
	定点当たり	14.22	1.22	96.73	1.03	0.26	1.85	3.50	0.25	0.72	0.02	0.20	0.97	0.02	0.07	0.31	－	－	2.33	－	－	1.83	0.83
朝霞	報告数	304	33	1,250	13	2	12	24	1	7	－	2	12	－	－	5	－	－	6	－	－	6	3
	定点当たり	19.00	2.06	78.13	1.30	0.20	1.20	2.40	0.10	0.70	－	0.20	1.20	－	－	1.00	－	－	6.00	－	－	6.00	3.00
鴻巣	報告数	383	15	3,186	10	1	36	24	－	3	－	2	5	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	31.92	1.25	265.50	1.43	0.14	5.14	3.43	－	0.43	－	0.29	0.71	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
東松山	報告数	76	1	473	－	1	－	29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	定点当たり	19.00	0.25	118.25	－	0.33	－	9.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1.00	－	－	－	－
秩父	報告数	28	1	86	－	1	4	－	1	－	－	－	－	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	7.00	0.25	21.50	－	0.33	1.33	－	0.33	－	－	－	－	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
本庄	報告数	7	2	130	1	－	－	－	－	－	－	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
	定点当たり	1.75	0.50	32.50	0.33	－	－	－	－	－	－	0.33	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－	2.00	－
熊谷	報告数	107	6	624	5	6	2	14	－	8	－	1	13	1	－	1	－	－	－	－	－	4	1
	定点当たり	11.89	0.67	69.33	1.00	1.20	0.40	2.80	－	1.60	－	0.20	2.60	0.20	－	0.50	－	－	－	－	－	4.00	1.00
加須	報告数	56	7	132	4	1	3	－	－	－	－	1	3	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－
	定点当たり	11.20	1.40	26.40	1.33	0.33	1.00	－	－	－	－	0.33	1.00	－	－	1.00	－	－	1.00	－	－	－	－
春日部	報告数	94	8	947	6	2	10	13	2	4	－	2	3	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	15.67	1.33	157.83	2.00	0.67	3.33	4.33	0.67	1.33	－	0.67	1.00	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
幸手	報告数	254	27	1,355	11	3	23	12	6	3	－	－	5	1	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	28.22	3.00	150.56	2.20	0.60	4.60	2.40	1.20	0.60	－	－	1.00	0.20	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
坂戸	報告数	45	7	409	1	－	2	42	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	2	－
	定点当たり	11.25	1.75	102.25	0.33	－	0.67	14.00	－	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－	1.00	－	－	2.00	－
草加	報告数	170	7	730	3	－	6	29	3	12	－	2	4	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	15.45	0.64	66.36	0.43	－	0.86	4.14	0.43	1.71	－	0.29	0.57	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
狭山	報告数	178	23	983	13	3	15	26	3	9	－	5	18	－	3	2	－	－	5	－	－	2	2
	定点当たり	13.69	1.77	75.62	1.30	0.30	1.50	2.60	0.30	0.90	－	0.50	1.80	－	0.60	0.40	－	－	5.00	－	－	2.00	2.00
南部	報告数	57	9	524	4	1	22	23	－	－	2	－	4	－	－	－	－	－	3	－	－	－	1
	定点当たり	11.40	1.80	104.80	1.33	0.33	7.33	7.67	－	－	0.67	－	1.33	－	－	－	－	－	3.00	－	－	－	1.00
川越市	報告数	137	5	833	3	3	8	2	2	13	－	－	7	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	15.22	0.56	92.56	0.60	0.60	1.60	0.40	0.40	2.60	－	－	1.40	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
越谷市	報告数	51	5	619	－	－	7	14	3	1	－	1	2	－	－	－	－	－	1	－	－	2	－
	定点当たり	6.38	0.63	77.38	－	－	1.40	2.80	0.60	0.20	－	0.20	0.40	－	－	－	－	－	1.00	－	－	2.00	－
川口市	報告数	168	29	1,556	12	1	21	44	1	10	－	2	7	－	－	3	－	－	2	－	－	－	1
	定点当たり	12.00	2.07	111.14	1.50	0.13	2.63	5.50	0.13	1.25	－	0.25	0.88	－	－	0.75	－	－	2.00	－	－	－	1.00
さいたま市	報告数	388	29	3,188	28	4	34	93	6	8	－	3	23	－	－	1	－	－	8	－	－	4	2
	定点当たり	9.02	0.67	74.14	1.00	0.14	1.21	3.32	0.21	0.29	－	0.11	0.82	－	－	0.13	－	－	8.00	－	－	4.00	2.00

（ － ： 0.00 ）　　＃1 鳥インフルエンザを除く　　＃2 真菌性を含む　　＃3 オウム病を除く

11月　4 日　13:00 集計

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　報告患者数　年齢別　（2026年第44週　10月26日～11月1日）

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
インフルエンザ　#1	2,503	5	19	81	89	90	125	139	164	131	155	109	471	143	112	152	193	150	92	47	36
新型コロナウイルス感染症	214	6	6	11	14	4	2	2	3	3	6	4	33	15	16	26	14	18	10	8	13

	合計	0歳	1−4	5−9	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
急性呼吸器感染症	17,025	997	5,460	4,049	2,021	825	645	817	651	654	398	294	214

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20〜
RSウイルス感染症	114	5	14	51	25	9	6	1	2	1	−	−	−	−	−
咽頭結膜熱	29	−	−	9	5	3	−	6	2	2	−	1	1	−	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	205	−	1	4	10	13	23	20	34	20	19	11	31	6	13
感染性胃腸炎	389	8	33	43	38	33	24	31	26	26	26	13	50	20	18
水痘	28	1	2	3	2	2	4	4	−	3	1	1	3	−	2
手足口病	80	−	5	29	20	5	5	5	3	2	2	−	3	−	1
伝染性紅斑	2	−	−	−	−	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−
突発性発しん	22	1	3	11	4	3	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	108	−	8	25	14	19	11	10	9	5	1	1	4	1	−
流行性耳下腺炎	2	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	1	−	−

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70〜
急性出血性結膜炎	3	−	−	−	−	1	−	−	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	13	−	−	1	3	−	−	−	−	−	−	−	1	−	2	2	1	3	−	−

	合計	0歳	1-4	5-9	10−14	15−19	20−24	25−29	30−34	35−39	40−44	45−49	50−54	55−59	60−64	65−69	70〜
細菌性髄膜炎　#2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	28	−	5	10	9	1	1	−	−	−	2	−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎　#3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
インフルエンザ(入院)	22	−	6	1	3	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	9
新型コロナウイルス感染症（入院）	10	1	2	1	1	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	4

※ 表中の数値は各定点からの報告数（ − : 0 ）

#1　鳥インフルエンザを除く　　#2　真菌性を含む　　#3　オウム病を除く

全国・関東情報

第42週（10月12日～10月18日）

令和8年11月5日

＜全国情報＞

急性呼吸器感染症定点報告疾患（報告定点数：3,730）：インフルエンザの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県（19.68）、埼玉県（15.39）、北海道（12.32）である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は983例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（38例）、1～9歳（222例）、10代（68例）、20代（6例）、30代（12例）、40代（19例）、50代（42例）、60代（70例）、70代（167例）、80歳以上（339例）であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県（1.96）、山梨県（1.85）、長野県（1.78）である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は225例と前週と比較して減少した。都道府県別では43都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（15例）、1～9歳（32例）、10代（6例）、20代（7例）、30代（5例）、40代（9例）、50代（12例）、60代（10例）、70代（53例）、80歳以上（76例）であった。急性呼吸器感染症（報告定点数：3,718）定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県（94.03）、群馬県（81.22）、岩手県（80.27）である。

小児科定点報告疾患（主なもの）（報告定点数：2,249）：RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県（2.40）、奈良県（2.21）、栃木県（2.19）である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は佐賀県（0.67）、大分県（0.58）、鹿児島県（0.58）、愛媛県（0.47）である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県（4.16）、鳥取県（3.16）、茨城県（2.97）である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は石川県（5.29）、宮崎県（5.07）、大分県（4.61）である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県（0.67）、京都府（0.64）、滋賀県（0.61）、岡山県（0.61）である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県（3.68）、石川県（2.29）、福島県（1.54）である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県（0.30）、徳島県（0.19）、宮崎県（0.13）である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県（2.20）、静岡県（1.98）、徳島県（1.86）である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県（0.17）、愛媛県（0.16）、岐阜県（0.11）である。

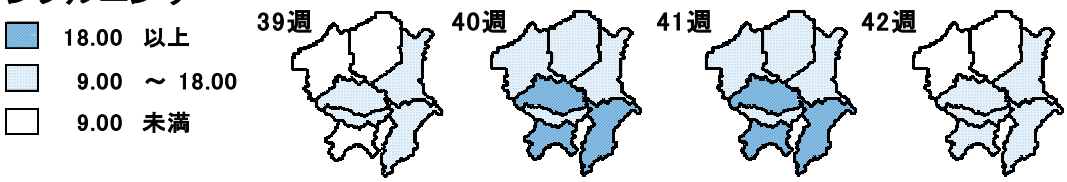
基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛知県（2.40）、山梨県（1.60）、埼玉県（1.58）である。感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）の定点当たり報告数は増加した。3都道府県から3例報告があり、年齢群別では1～4歳（1例）、20代（2例）であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第42週（10月12日～10月18日）：通巻第28巻 第42号

＜関東情報＞

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県（15.39）、千葉県（12.20）、神奈川県（10.92）、茨城県（9.82）、東京都（9.16）で全国平均（9.08）を上回った。

インフルエンザ



2026年 42週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ ＃1	報告数	33,864	12,761	658	358	350	2,694	2,208	3,839	2,654
	定点当たり	9.08	10.85	9.82	7.78	7.78	15.39	12.20	9.16	10.92
新型コロナウイルス感染症	報告数	3,313	1,434	76	36	56	343	228	416	279
	定点当たり	0.89	1.22	1.13	0.78	1.24	1.96	1.26	0.99	1.15
急性呼吸器感染症	報告数	210,827	81,028	4,391	3,349	3,655	16,456	11,312	23,465	18,400
	定点当たり	56.70	69.08	65.54	72.80	81.22	94.03	62.50	56.00	76.67
RSウイルス感染症	報告数	2,446	743	48	57	46	160	70	218	144
	定点当たり	1.09	1.04	1.30	2.19	1.84	1.45	0.65	0.83	1.01
咽頭結膜熱	報告数	400	53	3	1	1	20	4	15	9
	定点当たり	0.18	0.07	0.08	0.04	0.04	0.18	0.04	0.06	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	2,684	825	110	47	41	185	128	192	122
	定点当たり	1.19	1.16	2.97	1.81	1.64	1.68	1.19	0.73	0.86
感染性胃腸炎	報告数	6,339	1,975	100	36	105	334	186	812	402
	定点当たり	2.82	2.77	2.70	1.38	4.20	3.04	1.72	3.08	2.83
水痘	報告数	453	143	4	−	1	33	6	45	54
	定点当たり	0.20	0.20	0.11	−	0.04	0.30	0.06	0.17	0.38
手足口病	報告数	1,354	574	27	17	11	105	153	174	87
	定点当たり	0.60	0.81	0.73	0.65	0.44	0.95	1.42	0.66	0.61
伝染性紅斑	報告数	45	15	−	−	−	4	4	5	2
	定点当たり	0.02	0.02	−	−	−	0.04	0.04	0.02	0.01
突発性発しん	報告数	542	175	4	4	7	31	21	73	35
	定点当たり	0.24	0.25	0.11	0.15	0.28	0.28	0.19	0.28	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	1,666	732	48	34	55	110	94	264	127
	定点当たり	0.74	1.03	1.30	1.31	2.20	1.00	0.87	1.00	0.89
流行性耳下腺炎	報告数	70	24	−	−	1	6	5	9	3
	定点当たり	0.03	0.03	−	−	0.04	0.05	0.05	0.03	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	1	1	−	−	−	1	−	−	−
	定点当たり	0.00	0.00	−	−	−	0.02	−	−	−
流行性角結膜炎	報告数	359	80	14	3	4	13	6	5	35
	定点当たり	0.52	0.39	0.82	0.25	0.40	0.30	0.18	0.13	0.69
細菌性髄膜炎 ＃2	報告数	3	−	−	−	−	−	−	−	−
	定点当たり	0.01	−	−	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	報告数	33	6	−	−	−	2	1	3	−
	定点当たり	0.07	0.07	−	−	−	0.17	0.11	0.12	−
マイコプラズマ肺炎	報告数	295	84	10	5	13	19	4	23	10
	定点当たり	0.61	0.97	0.77	0.71	1.44	1.58	0.44	0.92	0.83
クラミジア肺炎 ＃3	報告数	4	1	−	−	−	1	−	−	−
	定点当たり	0.01	0.01	−	−	−	0.08	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	報告数	3	−	−	−	−	−	−	−	−
	定点当たり	0.01	−	−	−	−	−	−	−	−

＃1 鳥インフルエンザを除く　＃2 真菌性を含む　＃3 オウム病を除く　（−:0.00）

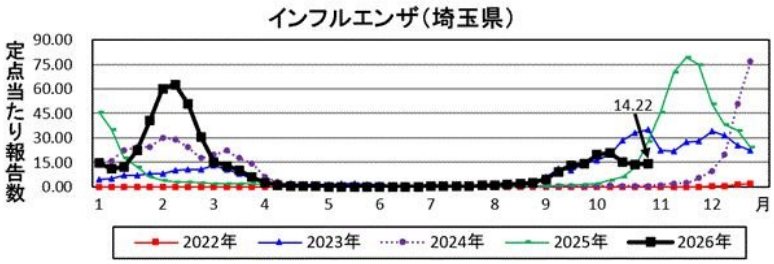
感染症発生動向調査 2026年
- 感染症の流行状況 2026年 第1週
- 感染症の流行状況 2026年 第2週
- 感染症の流行状況 2026年 第3週
- 感染症の流行状況 2026年 第4週
- 感染症の流行状況 2026年 第5週
- 感染症の流行状況 2026年 第6週
- 感染症の流行状況 2026年 第7週
- 感染症の流行状況 2026年 第8週
- 感染症の流行状況 2026年 第9週
- 感染症の流行状況 2026年 第10週
- 感染症の流行状況 2026年 第11週
- 感染症の流行状況 2026年 第12週
- 感染症の流行状況 2026年 第13週
- 感染症の流行状況 2026年 第14週
- 感染症の流行状況 2026年 第15週
- 感染症の流行状況 2026年 第16週
- 感染症の流行状況 2026年 第17週
- 感染症の流行状況 2026年 第18週
- 感染症の流行状況 2026年 第19週
- 感染症の流行状況 2026年 第20週
- 感染症の流行状況 2026年 第21週
- 感染症の流行状況 2026年 第22週
- 感染症の流行状況 2026年 第23週

感染症の流行状況 2026年 第44週

2026年第44週（10月26日～11月1日）の要点

定点把握対象疾患（インフルエンザ）

定点当たり報告数は、前週と同水準であり、依然としてやや多い状況にあります。



感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	－	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	→	－	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	ヘルパンギーナ	→	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。
疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「感染症情報提供サイト」でご覧になれます。

